

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2002-500202 (P2002-500202A)

【公表日】平成 14 年 1 月 8 日 (2002.1.8)

【出願番号】特願 2000-527281 (P2000-527281)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 5/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/44

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 5/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 37/04

C 1 2 P 21/02 C

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 37/66

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 6 日 (2005.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 哺乳動物において免疫優位部位を生成するための組成物であって、該哺乳動物における部位に免疫学的に優位な部位を生成するために効果的な量の網膜色素上皮 (RPE) 細胞を含む、組成物。

【請求項 2】 哺乳動物における疾患を処置するための組成物であって、治療タンパ

ク質または生物学的に活性な分子を供給する網膜色素上皮（R P E）細胞を含み、ここで、該R P E細胞は、該処置の必要性のある哺乳動物に対して、該哺乳動物における部位に、該部位において免疫学的に優位な部位を生成し、そして治療効果を持続するために効果的な量で投与される、組成物。

【請求項3】 哺乳動物における疾患を処置するための組成物であって、治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を供給する細胞と共に、網膜色素上皮（R P E）細胞を含み、ここで、該R P E細胞は、哺乳動物における部位に、該部位において免疫学的に優位な部位を生成するために効果的な量で投与され、そして、治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を供給する該細胞は、治療効果を持続するために効果的な量で該部位に投与される、組成物。

【請求項4】 哺乳動物における疾患を処置するための組成物であって、網膜色素上皮（R P E）細胞および治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を供給する細胞を含み、ここで該R P E細胞は、該哺乳動物の部位において免疫学的に優位な部位を生成するために効果的な量で投与され、そして治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を供給する該細胞は、治療効果を持続するために効果的な量で該部位に続いて投与される、組成物。

【請求項5】 請求項2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、前記治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子は、増殖因子、サイトカイン、ホルモン、ホルモンのペプチドフラグメント、サイトカインのインヒビター、ペプチド増殖因子またはペプチド分化因子、インターロイキン、ケモカイン、インターフェロン、神経伝達物質、コロニー刺激因子あるいは脈管形成因子からなる、組成物。

【請求項6】 請求項2に記載の組成物であって、ここで前記R P E細胞は、前記治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子をコードする核酸により形質転換される、組成物。

【請求項7】 請求項3または4に記載の組成物であって、ここで、前記治療分子を産生する前記細胞は、前記治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子をコードする核酸により形質転換される細胞である、組成物。

【請求項8】 請求項1、2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、前記R P E細胞あるいは治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を供給する前記細胞は、マトリックスに付着される、組成物。

【請求項9】 請求項3または4に記載の組成物であって、ここで、前記R P E細胞および治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を供給する前記細胞は、マトリックスに付着される、組成物。

【請求項10】 請求項1、2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、該組成物は、移植のために処方されている、組成物。

【請求項11】 請求項1、2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、前記R P E細胞は、 $10^3 \sim 10^7$ 細胞の投薬量で投与される、組成物。

【請求項12】 請求項3または4に記載の組成物であって、ここで、前記生物学的因子を産生する前記細胞は、 $10^3 \sim 10^7$ 細胞の投薬量で投与される、組成物。

【請求項13】 請求項10に記載の組成物であって、ここで、前記移植は、異種移植によるものである、組成物。

【請求項14】 請求項10に記載の組成物であって、ここで、前記移植は、同種移植によるものである、組成物。

【請求項15】 請求項2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、前記疾患は、神経性疾患、心疾患、内分泌疾患、肝臓疾患、肺疾患、代謝疾患、または免疫学的疾患からなる、組成物。

【請求項16】 請求項1、2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、前記R P E細胞は、前記部位において免疫学的に優位な部位を持続するために効果的な量で該部位に再投与される、方法。

【請求項17】 請求項2、3、または4に記載の組成物であって、ここで、前記部

位において治療効果を持続するために効果的な量で、R P E細胞、または前記治療タンパク質もしくは他の生物学的に活性な分子を供給する細胞が該部位に再投与される、方法。

【請求項 18】 請求項 2、3、または 4 に記載の組成物であって、全身性の免疫抑制剤をさらに含む、組成物。

【請求項 19】 網膜色素上皮 ( R P E ) 細胞、および治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子を産生する細胞、および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 20】 網膜色素上皮 ( R P E ) 細胞、および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 21】 マトリックスに付着される網膜色素上皮 ( R P E ) 細胞を含む、薬学的組成物。

【請求項 22】 網膜色素上皮 ( R P E ) 細胞、および治療タンパク質またはマトリックスに付着される他の生物学的に活性な分子を産生する細胞を含む、薬学的組成物。

【請求項 23】 請求項 19 または 22 に記載の組成物であって、ここで、前記治療タンパク質または他の生物学的に活性な分子は、増殖因子、サイトカイン、ホルモン、ホルモンのペプチドフラグメント、サイトカインのインヒビター、ペプチド増殖因子またはペプチド分化因子、インターロイキン、ケモカイン、インターフェロン、コロニー刺激因子あるいは脈管形成因子からなる、組成物。

【請求項 24】 哺乳動物における疾患の処置における使用のためのキットであって、網膜色素上皮 ( R P E ) 細胞を収容するために適応される第一の容器、および該第一の容器内に収容される R P E 細胞、ならびに該疾患が存在しないまたは欠損している治療分子を産生する細胞を収容する第二の容器、および該第二の容器内に保持される該治療分子を産生する細胞を包含する、キット。

【請求項 25】 請求項 24 に記載のキットであって、ここで、治療分子を産生する前記細胞は、ランゲルハンス細胞の脾島である、キット。

【請求項 26】 請求項 24 に記載のキットであって、ここで、前記 R P E 細胞は、マトリックスに付着される、キット。

【請求項 27】 請求項 24 に記載のキットであって、ここで、治療分子を産生する前記細胞は、マトリックスに付着される、キット。

【請求項 28】 包装材料および該包装材料内に保持される網膜組織上皮 ( R P E ) 細胞を含む製品であって、ここで、該 R P E 細胞は、哺乳動物において免疫学的に優位な部位を生成するために有効であり、そして、該包装材料は、該細胞が哺乳動物において免疫学的に優位な部位を生成するために使用され得ることを示すラベルを含む、製品。

【請求項 29】 F a s リガンド ( F a s L ) を産生する方法であって、( i ) 該 F a s L を発現する網膜色素上皮 ( R P E ) 細胞を培養する工程：および ( i i ) 細胞培養物から F a s L を回収する工程を包含する、方法。